

一般質問のその後

一/般/質/問

どげんなっとうと?

5

復活!! 青年団

時代のニーズに即して

問

昨年3月11日の未曾有の大震災から早1年が経過しました。

先の見えない復旧・復興、被災者の心痛を察するに痛恨の極みに堪えません。

この震災で、私たち日本人に故郷への想と情、思い出された「絆」と「共助」を見直す機会を与えてくれました。

その昔、本町でも昭和48年に大水害が発生し、壊滅的な打撃を受けました。その時に活躍されたのが消

防団であり、婦人会や青年団の組織でした。

どうしても今回の震災と重複して映ります。

今こそ教訓を活かすチャンスと思いますが、町長の見解を聞きたいと思います。

答 川津社会教育課長

粕屋地区の青年団及び婦人会の存続状況ですが、青年団は4町にあり、団員数は宇美町12名、粕屋町25名、篠栗町8名、久山町2名で、本町を含め1市3町が解散しています。



藤石 豊 議員

婦人会は2町にあり、会員数は宇美町60名、粕屋町37名で、1市5町が解散しています。

須恵町の青年団は平成8年に団員数の減少等により解散、婦人会は、平成4年に地域意識の希薄化、急激な社会構造の変化により、その歴史に幕を下ろしています。

答 中嶋町長

時代のニーズに即した、必要性のある自主的な団体が組織されるようなときは、行政は全面的に支援していきます。例えば、自主防災組織などであれば行政はサポートしますが、これまでのような青年団、婦人会の活動では復活は難しいと思っています。



婦人会解散後に建立された石碑 (アザレアホール横)

過去の一般質問の状況を追ってみました。

どうなった?

国民健康保険証のカード化は

問

国民健康保険証カード化の実施に向け、早期実現がでないかお尋ねします。

答 安部住民課長

今まで原則1世帯に1枚配付していた保険証を1人に1枚配付することにより、各々が常時携帯でき、1世帯の家族の方が同時に別の医療機関で受診できることや、旅行時や学生等が一時的に町を離れる場合等、非常に利便な点があります。

しかしその反面、発行枚数が増え費用がかかることも紛失等による事故等も懸念されます。



新しい国民健康保険証 (サンプル)

実施にあたっては、いくつかの問題点もあることから、国保連合会・近隣市町村や医師会との連携を図りながら、被保険者の利便性の向上を図るため、カード化に向けて課長会並びに係長会において、さらに検討していきます。(平成17年6月定例会)

◇その後◇

平成24年度から国民健康保険証のカード化を実施しています。

1人1枚の保険証となったことにより、被保険者の利便性が高まりました。

また、カード裏面には、個人ごとに臓器提供の意思表示をするための記載欄が設けられています。

国民健康保険証は、平成13年の健康保険法施行規則改正において、原則として1人1枚のカード様式とすることが規定されましたが、須恵町では、事務の煩雑化・コスト面

等を考慮して、世帯ごとの保険証を使用してきました。しかし、古賀市が平成23年度からカード化を実施することとなったほか、粕屋医療圏におけるサービスの均一化等を考慮し、須恵町を含む糟屋郡内7町も平成24年度からの実施に向けて準備・検討を進めてきました。

須恵町のほか宇美町・志免町・新宮町および篠栗町が同一の電算システムを利用しており、各町のカード様式を統一することで、システムの改修費用が抑えられ、保険証の大量発注ならびにコストの軽減が可能となったため、24年度からの実施となりました。